

活動報告

にこスマキャンプ

8月8日(土)に、にこスマキャンプをはじめてonlineで開催しました。

初めに「はじまりの会」を行いました。onlineということもあり話がちゃんと伝わっているか不安でしたが子ども達分かりやすい反応などをしてくれたのでとてもやりやすかったと思います。次に「自己紹介ゲーム」をしました。どこでも参加できるということもあり小学生から大学生、社会人と初めて見る方々も沢山いました。「お話会」では、年代ごとにグループに分かれ、昔話や最近何してるか、恋愛話などいろんな話を

しました。コロナが流行ってた時期もあり県外のコロナの状況や学校、仕事の具合などを話しました。大学生組は友達に一回も会ってないってことにびっくりしました。最後の「終わりの会」では、みんなの感想を聞いて、楽しくできたのでよかったなと思いました。歌はみんなで歌うことは難しかったけれど成功できたのでよかったとおもいます。創作活動では、みんなの手形の中にお願いごとを書きました。ほとんどの人が友達と早く会いたいやコロナが早く落ち着きますようにとのお願いがされていました。早くコロナが落ち着き、来年はみんなで創作できたらいいなと思います。

短い時間ではありましたが、離れていてもオンラインという形で仲間と繋がることができよかったと感じています。次のキャンプでは直接皆さんに会えることを楽しみにしています。

《運営スタッフ・キャンプリーダー／吉村 昭紀》



自己紹介ゲーム

自己紹介ゲームでは「もしもボックス 自己紹介」を行いました。自己紹介をしながら「もしも○○だったら」というテーマで1人1人文章を作って発表しました。最初の企画でうまくいかず不安でしたが、「コロナウイルス感染拡大が落ち着いたら福岡に遊びに行きたい」「虫が苦手だから、生まれ変わったら虫になって虫の気持ちを知りたい」など、独創的で楽しい話がたくさん出て、画面の中が笑顔でいっぱいになりました。《運営スタッフ／山本 芙優》

創作活動

創作活動ではにこスマメッセージを行いました。自分の手形を取り、新しく始めたことや家で楽しめることなど4つのお題から選びメッセージを書いてもらいました。離れていても参加者全員の個性が出るメッセージやデザインを見ることができました。また、オンラインという初の試みでしたが、少しの時間であっても繋がることができよかったと感じています。《運営スタッフ／小槌井 麻衣》

お話会

オンラインでの開催となりましたが、画面上でも顔を合わせられたことと皆が笑顔で参加してくれたことで、直接会って話しているような温かい雰囲気のなかでお話会を行うことができました。年齢の近い参加者で小グループを作り、グループトークという形で行いました。各グループで話された内容は、学校の友人関係・勉強や将来の夢・入院中の過ごし方・自粛期間どう過ごしていたかなどでした。同じ小児がん経験者だからこそお互いの悩みに共感し、どのように対応していくとよいのか話し合うことができたようでした。

オンライン開催になったことで、進学などで他県に転居した子たちも繋がることができ懐かしい時間を過ごすこともできました。また「友達を作りたい」という思いで初めて参加してくれた子もいて、最後は友達もできて「楽しかったー!」と大きな声で教えてくれました。にこスマのお話会はオンラインであっても仲間と繋がる場になれたことがとても嬉しかったです。《運営スタッフ／今戸 江梨》

にこスマキャンプ 2020.夏 収支報告書

[収 入]

項 目	金 額 (円)	内 訳
自己資金	103,719	
助成金	200,000	樋口宗孝がん研究基金
その他		
合 計	303,719	

[支 出]

項 目	金 額 (円)	内 訳
旅費交通費	0	
印刷製本費	6,446	キャンプチラシ作成
通 信 費	47,108	開催案内、当日資料等発送費用
会 議 費	2,550	当日スタッフ昼食代
消 耗 品 費	216,716	iPad、音響機材、創作用品購入
賃 借 料	30,855	配信機材レンタル
合 計	303,719	